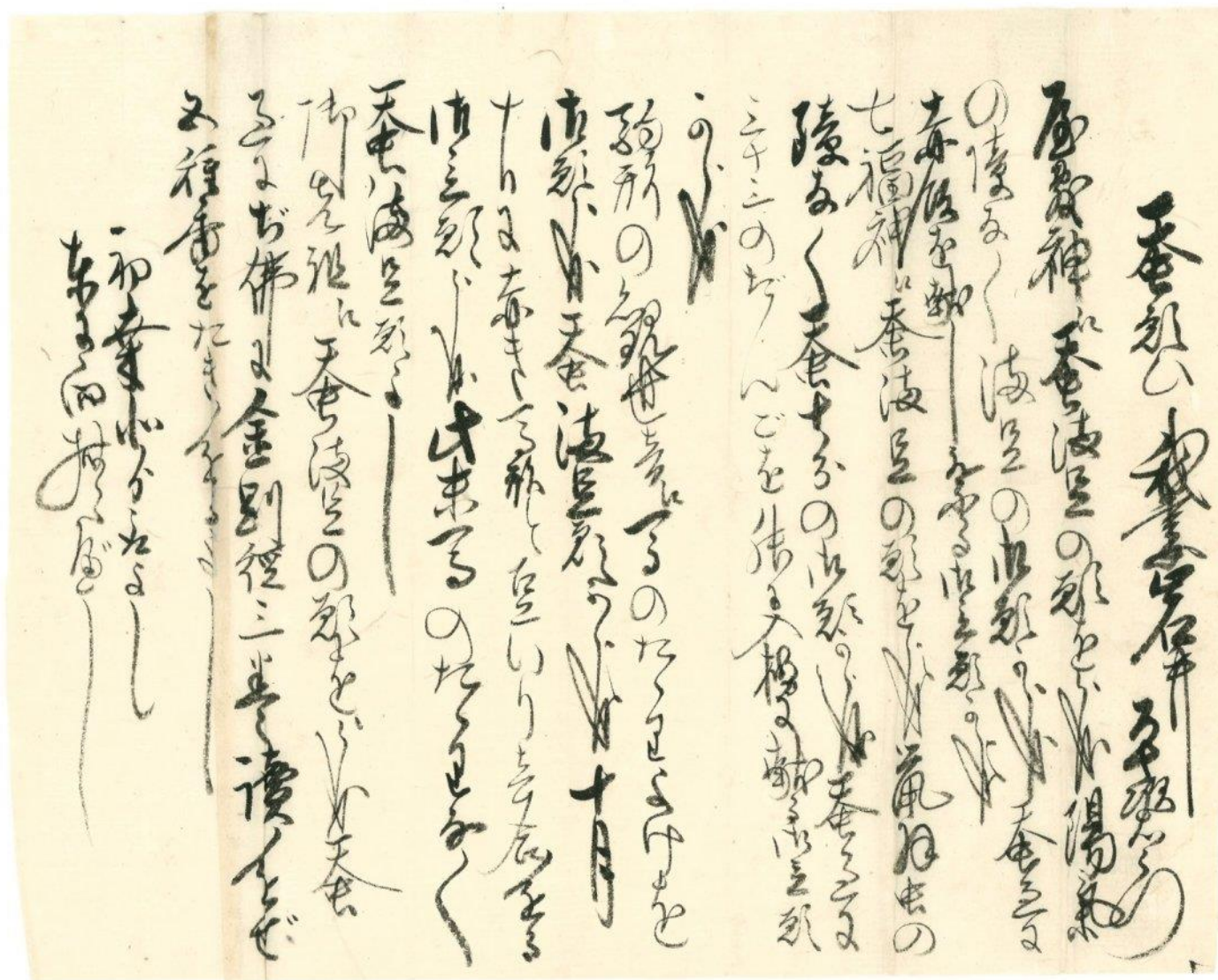


④ 蚕願ひ (豊蚕行事覚)

近世

この史料は、神仏(屋敷神・七福神・観音など)に豊蚕を祈る作法を記したもので、養蚕が盛んな上州(群馬県)にちなんだ大変珍しい史料です。史料の最後には「御先祖」への祈願についても記されています。この記述からは、先祖を豊蚕をもたらす神として捉えていたことが窺えます。養蚕の歴史は、蚕の病気や害虫、鼠などの害獣との戦いの歴史でもありました。この史料からは、上州(群馬県)の養蚕農家の豊蚕への切実な願いを感じ取ることができます。

伊能光雄家文書 P8003 No.911
(吾妻郡東吾妻町岩井)



【45】 蚕願ひ（豊蚕行事覚）

〔釈文〕

蚕願ひ 我妻岩井^(吾)

平次右衛門

屋敷神^江 蚕満足の願を被^レ成、陽氣

の障なく満足の御願可^レ被^レ成、蚕過に

赤飯を献し祭る御立願可^レ被^レ成

七福神^江 蚕満足の願を被^レ成、鼠・羽虫の

障なく蚕十分の御願可^レ被^レ成、蚕過に

三十三のだんごを升に入、棚に献る御立願

可^レ被^レ成

駒形の観世音^江馬のたよりよけを

御願被^レ成、蚕満足願可^レ被^レ成、十月

十日に赤き馬形と豆いり壺合進る

御立願被^レ成、此末馬のたよりなく

蚕満足願よし

御先祖^江 蚕満足の願を被^レ成、蚕

過にち仏に金剛經三卷読進ぜ

五種香をたき進るよし

初葉北方取よし

東に向焚べし

〔読み下し文〕

蚕願ひ 我妻岩井^(吾)

平次右衛門

屋敷神へ蚕満足の願いを成され、陽氣

の障^(よわら)なく満足の御願い成さるべし、蚕過ぎに

赤飯を献じ祭る御立願成さるべし

七福神へ蚕満足の願いを成され、鼠・羽虫の

障なく蚕十分の御願い成さるべし、蚕過ぎに

三十三のだんごを^(升)升に入れ、棚に献ずる御立願

成さるべし

駒形の観世音へ馬のたたりよけを

御願成され、蚕満足願い成さるべし、十月

十日に赤き馬形と豆いり壺合進る

御立願成され、此の末馬のたたりなく

蚕満足願いよし

御先祖へ蚕満足^(特)の願いを成され、蚕

過ぎにち仏に金剛經三卷読み進ぜ

五種香をたき進るよし

初め桑北より取るよし

東に向かい焚くべし